

様 式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

## 科学研究費助成事業

## 研究成果報告書



平成 29 年 5 月 1 日現在

機関番号：32411

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26381284

研究課題名(和文) 開発教育の教材開発

研究課題名(英文) Making Teaching Materials for Development Education

研究代表者

吉住 知文 (Yoshizumi, Tomofumi)

駿河台大学・経済経営学部・教授

研究者番号：30364813

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,100,000 円

研究成果の概要(和文)：開発教育(Global Education、多文化教育を含む)の先進国である北欧、イギリス、カナダ、オーストラリアで開発教育の現状を現地で調査し、膨大な関連資料を収集した。また、開発教育の教材開発を、インドを対象に作成する予定だったため、最後にインドで開発と低開発の実情を調査した。それらの成果を、2016年に地理教育研究会(学会)で2本発表し、2017年7月刊行予定の研究雑誌に「オーストラリアにおける開発教育・地理教育の現状 -ICT・GIS・反転授業-」というテーマで研究ノートを発表する。

研究成果の概要(英文)：I investigated the present conditions of the Development Education (including Global Education and Multi-Cultural Education) in North Europe, U.K., Canada, Australia that were the leading countries of that theme in the world, and I collected enormous related documents. As I intended to make the teaching materials focusing on India, lastly I investigated the conditions of development and under-development in India.  
I conducted the research presentation about two themes of those results in a study meeting of THE ASSOCIATION OF GEOGRAPHY EDUCATORS OF JAPAN in 2016 and I will publish a study note about the theme of "Present Conditions of the Development Education and the Geography Education in Australia - ICT, GIS, Inversion class - " in a bulletin in July, 2017.

研究分野：インド地域研究

キーワード：開発教育 地理教育 グローバルエデュケーション 多文化教育 教材

## 1. 研究開始当初の背景

欧米では早くから開発教育の必要性が認識され、学校教育のなかにも位置づけられてきた。そのような伝統の中から、NGO、研究者、教員、開発教育センターなどが、多くの優れた開発教育教材を開発してきた。1980年代後半には、日本でも開発教育の教材の開発が行われるようになり、優れた教材もあるが(大津和子、1989、『社会科 = 1本のバナナから』、国土社。開発教育協議会『開発教育ニュースレター』各号など)、全体としてみると、残念ながらその量においても質においても欧米の教材に追いつけていない。

その原因はいくつか考えられる。まず、開発途上国における住民レベルの開発問題の情報に、最も密接にアクセスすることが可能なのは NGO であるが、日本では NGO 活動の伝統も浅く、資金力、情報収集能力、開発教育教材作成のノウハウなどを十分に持つ NGO がわずかししか育っていないことである。教材作成のノウハウを最も持っているのは教員のはずであるが、残念ながら、今日の教員が極めて多忙であることと、開発教育の対象としているのが開発途上国である場合が多く、教員がそれらの情報にアクセスしたくても、語学的なハンディがある場合が多いことなどのために、開発教育の教材作成に関わっている教員はあまり多くはない。もう一つのアクターであるはずの研究者は、自らの専門的研究業績の蓄積にのみ精力を注いでおり、研究成果の教育現場への還元という、業績として評価されにくい仕事を敬遠しがちであることなどが要因である。本来、この三者が共同で開発教育教材を開発するのが最も望まれるのだが、まだその機運が芽生えていないのが現状である。

そのような状況の中、応募者は、遅々としてではあるが、開発教育の教材の収集、開発、実践を行ってきた。応募者たちが翻訳するとともに、日本版の教材を挿入し、実践録を付して刊行した『援助と開発』は、その最初の成果である。本書は、開発教育で用いられる実践上の方法論や思想的なパラダイムを学ぶ上で、当時日本で刊行されている開発教育の教材としては最も有用性の高いものの一つであったと自負している。次いで上梓した「開発教育教材作成の試み - インドヒマラヤの森林開発をモデルとしたロールプレイ」(『國學院大学教育学研究室紀要』第 35 号、2001)は、応募者が行ってきた、インドの西ヒマラヤの森林政策と住民生活の関係の研究と、開発教育の研究、実践の中から作った教材である。展開手法はいわゆるロールプレイで、それ自体は古くから用いられてきた手法であるが、できるかぎり史実に基づき構成した。この教材は、西ヒマラヤのクールー地方の、19 世紀後半から 20 世紀初頭の歴史状況を反映させたものである。この教材の意図は、森林破壊防ぎながら持続的な森林経営を行うにはどのような営林形態が望ましいの

かを考えることにあり、この教材で取り上げた西ヒマラヤの森林経営を巡る歴史的な論争は、そのような開発にかかわる現代的な課題を考えるための格好のリソースを提供してくれる。次いで発表した、『貧困と開発 - 豊かさへのエンパワーメント - 』、開発教育協会、2005 では、フリードマンの、貧困の力の剥奪モデル(Friedmann, John, 1992, Blackwell, Cambridge(MA)(斎藤千宏、雨森孝悦訳、1995, 新評論)を深化させ、バングラデシュを対象とした、主観的グラフ作成教材を提唱した。この教材では、フリードマンのモデルを基にしながらも、社会的な力の基盤の概念を拡大して、環境や文化、ジェンダー、意思決定、安全など家庭を越えた豊かさの条件を措定した。そして、その豊かさの条件をどの程度奪われているか、豊になるための力の獲得機会をどの程度奪われているか、豊になるための力を発揮する機会をどの程度奪われているかを、貧困の度合いと考え、それをレーダーチャートという形で、視覚的に表現する過程を通じて、貧困を理解させられるように考えた。

このような状況の中、近年の開発教育の研究成果を取り入れ、新たな展開手法の研究と教材の開発を行うことに大きな意義がある。

## 2. 研究の目的

この研究は、開発教育を推進するための授業展開手法の研究と、それを応用して開発教育の教材を開発することを目的とする。応募者は、上述のようにこれまで開発教育の手法の研究といくつかの開発教育の教材作成を行ってきたが、ここで、新たな開発教育の考え方や方法論を整理し、それに基づいて、応募者の研究フィールドであるインドを対象とした開発教育教材を作成し、開発教育の推進に寄与したいと考える。イギリス、カナダ、オーストラリアなどで開発教育の優れた教材が刊行されている。それらの内容や展開手法を検討し、日本の学校教育の中での実践可能性と、教育効果を考察する。そして、教育効果が期待でき実現可能な手法を抽出すると共に、新たな、展開手法も開発して、応募者のインド研究の成果や、インドで活動する NGO などの成果と結び付け、インドを対象とした、いくつかの開発教育教材を作成することを目的とする。

## 3. 研究の方法

まず、近年の開発教育に関する方法論や、教材開発論に関する文献を収集してそれを分析し、有効な展開方法論や教材開発方法論の構築を目指す。次いで、イギリス、カナダ、オーストラリアなどで開発された開発教育教材を収集してそれを分析し、日本の学校教育の中での実践可能性と、教育効果が期待できるものを翻訳出版する。次いで、新たな開発教育方法論や、教材開発方法論を援用して、応募者のインド研究の成果や、インドで活動

する NGO などの成果と結び付け、インドを対象とした、いくつかの開発教育教材を作成し、出版する。

#### 4. 研究成果

2014年8月にデンマーク、スウェーデン、ノルウェー、イギリスに行き、次のような開発教育関連の資料の収集を行った。Copenhagen Universityで“Aid - the drama the fiction and does it work”、“Education and capabilities for a global great transition”など9冊の資料を収集、Stockholm Universityで“Children’s voices in ESD”、“Early Childhood Education for Sustainability”など11冊の資料を収集、Nobel Peace Centerで平和教育関連の資料を3冊購入、Institute of Education University of Londonで“Learning About Development WEB”、“Global learning and subject”など11冊の資料を収集、ロンドンのWaterstone書店で、“Dilemma-Based Learning”他13冊の資料を購入、大英図書館で“Transformative Learning through”、“Imagined Worlds, Real Learning Examining the use of drama”など11冊の資料を収集した。また2015年2月にカナダに行き、次ような資料を収集した。Somba KayのSt. Patric高校校のLoralea Wark氏のSocial Studiesの資料と課題プリントを収集。The Legislative Assemblyにて、多文化共生政策に関わる資料収集。Northern Heritage Centreにて、開発教育に関連する先住民関係の資料を収集。州政府教育省にて“Education Renewal and Innovation Framework”、“Aboriginal Student Achievement Education Plan”等の資料を収集。書店にて“Inuksuit”、“How we saw the world”他の多文化教育の資料を購入。British Columbia州教育省にて“Planning guide and framework for development of aboriginal learning resources”、“World study grade 7”等の開発教育関連の資料および、“Promising Practices and New Directions in Multiculturalism and Anti-racism Programming: A Scoping Review”、“Multiculturalism Grants support cultural diversity”等の多文化教育の資料を収集。バンクーバーのCoal Harbour Community Centreにて、言語習得コース開設など多文化主義に基づく活動の調査および、“THE WESTCOAST READER”、“common ground”、“THE GEORGIA straight(ママ)”等の関連資料を収集。University of British Columbia(UBC)のMuseum of Anthropologyにて多文化主義の資料を収集し、“Aboriginal Education”他の資料を購入。UBCの図書館で“GENDER MAINSTREAMING IN POVERTY ERADICATION AND THE MILLENNIUM DEVELOPMENT GOALS”、“Thinking big, responding to urbanization

in the developing world”等の開発教育関連の資料を収集。援助活動を行うWhole Planet Foundationを立ち上げたWhole Food Storeにて、多文化主義情報誌“The Source”他の資料を収集。Justice Education Societyにて“Court Information Program for Immigrants”等の多文化主義の資料および、“Being an Active Citizen: Grade 7 Resource Package”、“First Nations Journeys of Justice”等の公民教育、開発教育教材を収集。Vancouver School Boardにて、“Policy Manual”等の教育政策関連の資料を収集。

2015年8-9月にオーストラリアで調査を行った。SydneyにてWorld VisionのManager of Global EducationのRod Yule氏に面会。オーストラリアにおける開発教育、多文化教育の実情を取材。“get connected: A Global Education resource from World Vision”の各号、“Global Perspectives: A framework for global education in Australian schools”、“Australia’s engagement with Asia: Indonesia”、“BRIGHT APARKS LEADING LIGHTS: SNAPSHOTS OF GLOBAL EDUCATION IN AUSTRALIA”などWorld Vision発行の開発教育、多文化教育関連の教材を購入。また、World Visionが発行する“Hugh Jackman, Laughing Man and helping hand”、“Aussie spirit fuels Africa’s greatest transformation”、“Indian, Myanmar flooding”等の資料を収集。Adelaideで、Scotch College(中等学校)を訪問、地理教師のMalcolm Massie氏に面会。「自分が作りたいうスマホアプリ」をテーマにしたプレゼンテーションコンテストに参加し、評価委員を務めた。その後、同氏から自分が展開する地理の授業の資料を紹介してもらった。メルボルンでは、Immigration Museum、Melbourne Museumにて多文化主義教育、開発教育の教材を多数収集した。前者では、教育用の教材が豊富に制作されており、“Leaving and Arrival - Understanding the Waves of Migration to Victoria”、“Global Citizenship Through Interfaith and Intercultural Learning - Understanding our Cultural Diversity - Self guided”などを収集。後者では、“Koorie Studies in SOSE Years 7-10”などを収集した。

2017年2-3月にインドにて調査を行った。DarjeelingのJay Shree Tea and Industries Ltd.が経営するPuttabong(Tukvar) Tea Estateのプランテーションで茶園労働者のインタビュー調査を行った。Darjeelingの茶園労働者の特異な労働条件と労働環境が分かった。DarjeelingのOxford Book Shopで“Tea Plantation Workers in a Himalayan Region”、“Socio-Economic and Political Problems of Tea Garden Workers”、“Empire of Tea”、“Sociology of Indian Tea Industry”などの書籍を購入。KolkataのMother HouseでMother Teresaの活動の調査。近くの

Pauline Book and Media Centre で ” Mother Teresa -Come be my light ”、” Mother Teresa -An embodiment of love and peace- ”、” Mother Teresa ”、” Forest Fires ” などの開発教育関連の書籍を購入。Delhi の Manohar 書店にて ” Advancing Global Education Patterns of Potential Human Progress ”、” Ecorestoration of Degraded Hills ”、” Immigration, Agriculture and the Raj ” など環境問題、開発問題、開発教育関係の書籍を 19 冊購入。

当初目的の開発教育の資料は十分に収集できたし、イギリス、カナダ、オーストラリアの開発教育の実施状況もかなり調査できた。それらの成果については、下記の学会発表や著作で発表し、一定の成果を上げることができた。ただ、当初目的の、インドを対象にした開発教育教材は、インドの政情不安等の関係もあって、資料収集が最終年度の終了間際になってしまったため、今後の課題として残ってしまった。

#### 5. 主な発表論文等

( 研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線 )

〔雑誌論文〕( 計 2 件 )

1 吉住知文、「オーストラリアにおける開発教育・地理教育の現状 -ICT・GIS・反転授業-」『駿河台大学論叢』, 査読無し, 第 54 号, 2017 年, 印刷中

2 吉住知文、「オーストラリア調査報告」『埼玉地理教育研究会通信』, 査読無し, 第 19 号, 2017 年, 3-8

〔学会発表〕( 計 2 件 )

1 吉住知文、「教職科目のアクティブラーニング的展開 - グループワーク・グループ討論・参加型教材 -」, 地理教育研究会, 2016 年 8 月 7 日, 大阪金蘭会

2 吉住知文、「オーストラリアにおける地理教育・開発教育の現状 -反転授業・ICT・GIS-」, 地理教育研究会, 2016 年 8 月 7 日, 大阪金蘭会

〔図書〕( 計 件 )

〔産業財産権〕

出願状況 ( 計 件 )

名称 :  
発明者 :  
権利者 :  
種類 :  
番号 :  
出願年月日 :  
国内外の別 :

取得状況 ( 計 件 )

名称 :  
発明者 :  
権利者 :  
種類 :  
番号 :  
取得年月日 :  
国内外の別 :

〔その他〕  
ホームページ等

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

吉住 知文 (Tomofumi YOSHIZUMI)  
駿河台大学・経済経営学部・教授  
研究者番号 : 30364813

##### (2) 研究分担者

( )

研究者番号 :

##### (3) 連携研究者

( )

研究者番号 :

##### (4) 研究協力者

( )